

# 大空 (生徒・保護者向け) 18号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年9月10日(木)

## 一生懸命と感動(Can do)―朝陽祭体育の部挨拶―

### □本日の概要

- 行事は感動するためにある。感動は「Can do」につながり、不可能を可能にする。
- 宮崎西高生、附属中学生の一生懸命な姿は感動的であった。「全力を尽くす」ことが本校の伝統であり、皆はこの伝統を守った。
- 今日の感動を支えてくれた多くの人々、特に保護者に感謝してほしい。

### □開会挨拶―You can do it!―

さて、行事は何のためにあるのでしょうか。それは「感動」するためです。感動するためには、一生懸命取り組まなければなりません。

「感動」の重要性について、北海道の植松電機の社長である植松努氏は「感動は、『CAN DO』につながる」と言っています。

植松氏によると、感動というエネルギーがあれば、不可能も可能になるということです。植松氏は本業のリサイクル業の傍ら、民間でロケットを開発しているのですが、この情熱に私は共感しました。

熱中症を避けながら、太陽以上に熱く、感動の汗と涙を流そうではありませんか。

「You can do it!」頑張ってください!

### □閉会挨拶―一生懸命の美―

素晴らしい体育祭でした。感動をありがとう。感動したのは、何より、皆さんの一生懸命な姿です。皆さんはそれぞれの役割を全力で果たしていました。団長をはじめとするリーダーだけでなく、様々な役員、団員などが、それぞれの立場で全力を尽くしたと思います。今年は、新型コロナウイルス、および熱中症への対策のため、プログラムを半日で終了する形に変更したため、参加する競技は少なくなったかもしれ

ませんが、逆に言えば、一つ一つの競技に、本当に一生懸命取り組んでおり、一人一人が自分だけの輝きを見せてくれました。

一生懸命は、もともとは「一所懸命」という言葉です。「いっしょ」とは、「一つの所」と書きます。もともと、中世の武士が、先祖伝来の所領を命懸けで守ったことから、「一つの場所に命を懸ける」すなわち「一所懸命」という言葉が生まれたのです。現在は、「先祖伝来の土地」という意味はなくなり、「一生懸命」という言葉が定着しました。言葉は変化したものの、この一生懸命という言葉には、「あるものを守ろうとして全力を尽くす」というニュアンスがもともとはあるのです。

それでは、皆さんが守ったものは何でしょう。皆さんは、全力をあげて、この宮崎西高校、そして附属中学校に培われた伝統を守りました。宮崎西高校の伝統は、創設の言葉にあるように、「全力」であります。高い目標を掲げ、皆で全力を尽くす。この姿が、本日の朝陽祭体育の部にも表れていました。

### □支えてくれた人への感謝

最後に、このように素晴らしい行事ができたのも、自分たちの力だけではありません。体育科の先生を始め、多くの先生方の指導がありました。そして、何よりも保護者の方々に感謝してください。本当は、朝陽祭と一緒に参加して、皆さんの姿を見たかったはずです。君たちのためにお弁当を作りながら、本当に悔しい思いをされたことでしょう。皆さん、家に帰ったら、保護者の方々に感謝の言葉を伝えてください。

今日の感動を胸に、支えてくれた多くの人々に感謝しましょう。この宮崎西高校で、自分たちの力を発揮する機会が与えられたことに感謝しましょう。

今日は、感動をありがとう。